


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立南多摩中等教育学校 中等教育学校		中等教育学校											
		「心を拓く 知を極める 体を育む」 ～心・知・体の調和～		基 本 情 報	入学 選 抜 情 報	募集人員	160名(男子80名、女子80名)								
基 本 情 報	所 在 地	〒192-8562 八王子市明神町四丁目20番1号	電話 番号			042-656-7030	應 募 倍 率	29年度	男子	4.38	30年度	男子	5.05	31年度	男子
		アクセス	(1) 京王線「京王八王子駅」西口下車徒歩3分 (2) JR中央線・八高線・横浜線「八王子駅」北口下車徒歩12分 (3)	女子	5.28	女子			5.34	女子		6.05			
本 情 報	特 色 あ る 教 育 活 動 (学校設定科目等)	① 文部科学省WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校として、国内外の大学、企業、国際機関等と協働して、イノベティブなグローバル人材を育成する		期 間	前期課程					後期課程					
		② 知的探究イノベーター校としての取組(平成29年4月～令和3年3月)			生徒在籍数	478名(男子237名 女子241名)					437名(男子203名 女子234名)				
報	目 指 す 学 校	③ 理数リーディング校としての取組(平成30年4月～令和3年3月)		学 校 評 価	合唱祭、文化祭、体育祭、関西研修旅行					合唱祭、文化祭、体育祭、海外研修旅行(オーストラリア)					
		④ 第二期英語教育推進校としての取組(平成31年4月～令和3年3月)			主な学校行事	合唱祭、文化祭、体育祭、関西研修旅行					合唱祭、文化祭、体育祭、海外研修旅行(オーストラリア)				
報	目 指 す 学 校	⑤ BYOD研究指定校としての取組(平成30年4月～令和2年3月)		ホ ー ム ペ ー ジ	主要な部活動	野球、陸上、バスケット、硬式テニス、女子バレー、剣道、南フィル、科学、太鼓					野球、陸上、バスケット、硬式テニス、女子バレー、剣道、南フィル、科学、太鼓				
		⑤ BYOD研究指定校としての取組(平成30年4月～令和2年3月)			校服	男子	制服	ブレザー、ズボン、ネクタイ			女子	制服	ブレザー、ズボン、ネクタイ		
自律経営推進予算 31年度(単位:万円)		4289万円		その他	開校10年目、平成31年3月4期生卒業										
学校評価		結果より:学習指導及び教科指導が充実、進路指導が充実、生徒は意欲的に取り組む													
ホームページ		http://www.minamitamachuto-e.metro.tokyo.jp/													

目指す学校 「人間力の南多摩」 心・知・体のバランスのとれた人間を育成し、国際社会の様々な分野で活躍するリーダーを育成する。「やりきらせる」を合言葉に「基礎力のある生徒集団」から「突破力のある集団」へと生徒を導く。

今年度の重点目標 今年度の取組と自己評価

目 標 ①	進路実現に向けた学力向上 ①2・3年生:学力推移調査で前年度より+1ポイント上回る ②5年生:3教科学習到達ゾーンA段階以上70% ③GTEC平均:4年生830点以上、5年生870点以上 ④GTEC:4年生920点以上、5年生1010点以上が20%以上 ⑤知的探究イノベーター校の推進組織と取組概要の作成	①2年生は3.6ポイント上回り、3年生は7.6ポイント下がっている。後期課程に向けた自律的な学習を促す。 ②学習到達ゾーンA段階を超える生徒は75.2%であった。特に英語の力が伸びている。 ③GTECは4技能受検となり、4年生の平均点が862.6点、5年生の平均点が925.7点と大きく向上している。 ④4年生920点以上は26.0%、5年生1010点以上は15.1%であった。上位層はCEFRのB2ランクに達している。 ⑤文部科学省のWWLコンソーシアム構築支援事業拠点校に指定されたため、プロジェクトチームを作り組織的に様々な活動に取り組んでいる。特に、国内外の大学や企業等と連携して、より深い学びの場を提供している。
目 標 ②	6年間を見通した進路指導の充実 ①6年生の80%以上の生徒が研究開発型大学への進学希望 ②センター試験5教科7科目受験者60%以上 ③センター試験難関国公立大学合格可能8割水準10%以上 ④校内でセンター試験・難関国公立大学入試問題の分析・指導 ⑤チューターを活用した自主学習のサポートの充実	①進路指導を丁寧に行い、94.2%の6年生が研究開発型大学へ進学希望であった。 ②センター試験5教科7科目受験をした6年生の割合は、61.0%であった。 ③センター試験難関国公立大学合格可能水準以上に達した生徒は、18.4%であった。 ④センター試験・難関国公立大学入試問題の分析集を校内で作成して、生徒に配布した。 ⑤平日放課後、原則として2名以上のチューターを配置して、自主学習支援を行った。後期生の受験相談および3年生の後期課程への接続補習などでもチューターの活躍する場面が多かった。
目 標 ③	生徒の心身の健全育成及び募集対策 ①SC連絡会の定期的な実施によるいじめ対策や特別な支援の必要な生徒及び心のケアを必要とする生徒対応の充実 ②適性検査倍率5.0倍以上 ③授業公開、学校説明会等の開催30回以上3,500名以上の参加 ④ホームページ更新300回以上	①SC連絡会は、前期課程については週1回、後期課程については月2回開催した。また、いじめアンケートを3回実施するとともに、産婦人科医および精神科医と連携した人権教育の講演会を行った。特別な支援の必要な生徒の個別指導に関する研修会を3回実施して、対応を充実させた。 ②適性検査倍率は5.33倍であった。 ③授業公開、学校説明会は30回開催して、参加者は4865人であった。 ④ホームページの更新は550回行った。

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	生徒による授業評価で「授業を受けて学力や自分の進歩を実感できる」到達率	80%以上	79.9%	80%以上	78.5%	80%以上	78.9%	80%以上	79.0%	80%以上	80%以上	80%以上
目標②	難関国公立合格者	13名以上	11名	13名以上	10名	13名以上	7名	13名以上	13名	13名以上	13名以上	13名以上
目標③	適性検査倍率	5倍以上	4.92倍	5倍以上	5.26倍	5倍以上	5.68倍	5倍以上	5.33倍	5倍以上	5倍以上	5倍以上